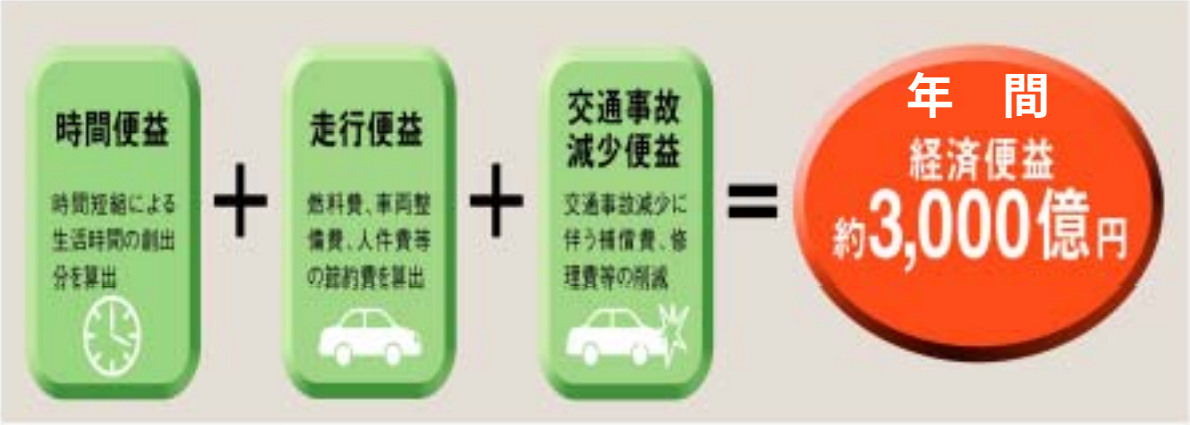
費用対効果

費用対効果

外環の完成による便益には、直接的な便益と間接的な便益がありますが、自動車交通の変化による便益のうち金額換算が可能な便益を試算すると、年間約3,000 億円の便益が毎年得られると考えられます。
（この他に環境改善の便益などがあります。）

一方、現在、中央環状線等の環状道路が地下構造で建設が進められており、地下トンネルの建設には１km あたり約 1,000 億円程度を要しています。
外環の費用は、構造（深さ）、インターチェンジ数、施工法等で大きく変化しますが、地下構造を想定した場合、仮に他の地下トンネルでの費用を参考にすると約 1.5 兆円程度から約 2.0 兆円程度の費用を要すると考えられます。（インターチェンジ１箇所あたりで約 1,000 億円程度の増加が見込まれます。）

なお、工事コストについては、新技術の活用等、直接的な工事コストの低減に加え、工事における社会的コストの低減など総合的なコスト縮減が必要です。